

講義

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
0A0A001	自然保護セミナー	1	1.0	1-5	春BC秋A秋BC	随時	飯田 義彦, 三ツ井 聡美, 澤田 聖人, 飯島 大智, 上條 隆志	自然保護にかかわる基礎的な理論や様々な研究・実践事例を講義し、グループディスカッション、エクササイズ、学生による発表などを合わせて、自然保護学への理論的、実践的な理解を深める。	人社棟B218他。対面(要望により個別オンライン対応可) 要望があれば英語で授業
0A0A003	地球環境論	1	1.0	1-5	秋A	金3,4	角替 敏昭, 八木 勇治, 鎌田 祥仁	地球の歴史と環境保全、生命維持の基礎となる地球環境の保全	オンライン(オンデマンド型)、オンライン(同時双方向型)
0A0A004	保護地域管理論	1	1.0	1-5	秋BC	集中	三ツ井 聡美	保護地域とは何か、その意義や課題について概説する。また、持続可能な保護地域を実現していくための計画、管理、ガバナンスのあり方について学ぶ。	非常勤講師:八巻一成
0A0A005	景観・緑地保全論	1	1.0	1-5	秋ABC	随時	伊藤 弘, 黒田 乃生	自然環境やさらには住環境の基盤である緑地と、それらを視覚的に捉えた結果である景観の保全について、その意味するところと保全に対する考え方や手法を、事例を踏まえて概説する。また、実際に保全活動が行われている現場にてその実態を見学する。	人社棟B216他。対面
0A0A006	ユネスコエコパークとジオパーク	1	1.0	1-5	春BC	集中	飯田 義彦	ユネスコの科学プログラムとして運営されているユネスコエコパーク(生物圏保存地域)と世界ジオパークは科学的な知見に基づいた保全と地域振興の両立を図る国際的な地域認証制度である。本科目は、生態系や地形地質の保全、観光や教育への活用、持続可能な地域振興といったさまざまな活動事例を通じて、その理念や仕組み、効果的な運営について学ぶことを目的とする。	対面
0A0A008	Wildlife Management	1	1.0	1-5	秋BC	水3	澤田 聖人	Wildlife management encompasses the conservation of threatened species, control of unwanted species, and sustainable harvest of resource species. We shall study principles and techniques of managing wild animals by exploring the ecological processes affecting wildlife and discussing challenges in the human-nature interface.	英語で授業。対面
0A0A010	自然保護行政論	1	1.0	1-5	秋C	集中	飯田 義彦	自然保護行政に係る政策形成やガバナンスの実態を環境省自然環境局等の実務経験者から学ぶ。	非常勤講師:渡邊綱男 対面
0A0A012	環境影響評価	1	1.0	1-5	秋AB	集中	澤田 聖人	環境影響評価制度実務者から、環境影響評価、戦略的環境影響評価(SEA)、生物多様性オフセットなどを学ぶ。	非常勤講師:傘木宏夫
0A0A013	生態系の保全と復元	1	1.0	1-5	秋C	集中	飯島 大智	森林、湿地、里山、山岳、島嶼、都市など様々な生態系の保全と復元について、自然を守りながら、持続的に利用していくための理念と実践例について学ぶことを目的とする。授業は、講義、関連文献の精読、ディスカッション、プレゼンテーションなどを主体とする。キーワード:自然保護、生物多様性、生態系サービス、モニタリング、気候変動、人と自然との関係ほか	対面
0A0A014	自然保護教育と環境教育	1	1.0	1-5	秋AB	集中	三ツ井 聡美	自然保護分野における教育活動の意義と展望、具体的手法などについて、座学と野外実習により学ぶ。	外部講演者:鳥山由子 非常勤講師:植原彰
0ANB712	遺伝子多様性学特論	1	2.0	1	秋AB	金1,2	渡邊 和男, 小口 太一	生物多様性の基盤となる遺伝的変異について、植物を主体例として、生物学的な観点から論じる。遺伝子多様性に関わる保全、産業利用や知的所有権について社会、経済、法律及び国際関係の観点を含め序論的に講述し、一般的理解を提供する。生物多様性と遺伝的多様性の概論、21世紀の戦略的な国家資源としての遺伝資源の学際的論議、遺伝子多様性の生物学、遺伝的多様性の測定について遺伝学的理論及び分子生物学を主体とした測定技術の紹介、生物多様性の保全について学際的アプローチによる生息域内保全及び生息域外保全、ジーンバンク、バイオリソースセンターと植物園などの関係の紹介、保全の技術の解説及び遺伝的多様性の産業利用と国際的関心事項の総合討論を行い、基礎的理解を得る。	科目等履修生の海外からのオンライン受講は不可。
0ANE322	植生学	1	1.0	1・2	秋B	火1,2	上條 隆志, 清野 達之, 川田 清和	植生は陸域景観の主要な構成要素である。この講義では、植生学、世界の植生、植物群集の分布に関する気候および土地的要因、植生の動態、および植生に対する人間の影響について後述する。特に、熱帯雨林、日本の森林、砂漠、草原に着目する。また、植生調査の現場実習も行う。	理科系B107で実施。02JZ009と同一。02JZ009と同一。対面(オンライン併用型)
0ANE323	Vegetation Science	1	1.0	1・2	秋A	火1,2	上條 隆志, 清野 達之, 川田 清和	Vegetation is a major component of our landscape. In this course, students learn concepts of vegetation science, world vegetation, climatic and edaphical factors on distribution of plant communities, vegetation dynamics and human impacts on vegetation. Tropical rainforests, Japanese forests, deserts and grasslands are focused in this course. Students also learn field practices of vegetation survey.	理科系B107。02JZ010と同一。02JZ010と同一。対面(オンライン併用型)

OATV103	自然遺産論	1	1.0	1・2	春B	集中	飯田 義彦 吉田 正人, 三ツ井 聡美	自然遺産保全の基礎となる自然保護、生物多様性保全を学ぶとともに、自然遺産と関連する保護地域制度と自然遺産との関連性について考究する。とりわけ、世界自然遺産の登録基準、世界自然遺産のセイフティネットとしての危機遺産リスト、外来種や気候変動のモニタリング、保護地域のネットワークと国境を超えた世界遺産などの事例を考察する。	非常勤講師：吉田正人
OATV202	UNESCO and the World Heritage Convention (ユネスコと世界遺産条約)	1	1.0	1・2	秋A	集中	上北 恭史 飯田 義彦, 池田 真利子	ユネスコ世界遺産条約は、国際遺産分野で最も影響力のある制度として、個々の遺産の保護・保全の実際から、各国の遺産政策や行政の展開に至るまで、加盟国に重要な指導的枠組みを提供してきた。本講義では、世界遺産条約とその周辺で展開された国際的な議論の全体像を解説する。	非常勤講師：稲葉信子
OATV203	World Heritage and International Cooperation (世界遺産と国際協力)	1	1.0	1・2	春BC	集中	飯田 義彦, 池田 真利子, 肥後 時尚	世界文化遺産・世界自然遺産に関わる国際協力の事例をもとに、文化遺産・自然遺産の保全に関わる国際的枠組みの成果と課題を学ぶ。合わせて、日本の国際協力に関する枠組みについても取り上げる。	非常勤講師：長岡正哲 (ユネスコ) 外部講師：長谷川基裕 (JICA) 英語で授業。
OATV204	World Heritage and Civil Participation (世界遺産と市民参加)	1	1.0	1・2	春AB	木3	池田 真利子	本講義では、1) 現在の世界遺産が直面する課題を的確に知り、2) その背景にある地域の実情を多角的かつ分野横断的にみること、さらに3) 世界遺産の維持のために必要不可欠とされている市民参加の在り方を、世界遺産に限定せず、広くヨーロッパの遺産保存の在り方から探ること、4世界遺産の多様化、5EUにおける最新の文化遺産を巡る動向を理解することを通じて、世界遺産における市民参加がどのようにして実現されるのかを考えることを目標とする。JASSO応募に際しての必須科目に設定。	英語運用能力が求められる。(日本語話者向け) 対面 オンライン(同時双方向型) 2025年度は対面講義(教室で国内外の大学とオンラインで接続する可能性はある)を予定する。
OATV205	World Heritage and Sustainability (世界遺産と持続可能性)	1	1.0	1・2	秋ABC	集中	飯田 義彦	持続可能性概念について様々な保全制度と地域実践事例から学ぶ。自然と文化の遺産管理において、持続可能性概念や国連の持続可能な開発目標(SDGs)をいかに結びつけて社会実装を進めるか。その上で、持続可能な社会づくりに向けたグローバルとローカルの協働のあり方と将来案についての自身の考えを深める。	英語で授業。
OATV206	Role of International Organizations and NGOs (国際機関の役割)	1	1.0	1・2	春B	木4,5	池田 真利子, 飯田 義彦, 肥後 時尚	修士・博士課程の学生は、ドイツやイタリアなどの西欧諸国だけでなく、旧東ドイツなどの東欧諸国やインドなどの南欧諸国における最近の国家的・地域的・地域的背景を知ることで、現代の「グローバル世界」において遺産とアイデンティティがどのように関連しているかを学ぶ。遺産保存の分野では、市民参加に根ざした実践は、特に1980年代以降、特定の地域的・政治的文脈によって、多くの成果を上げてきた。しかし、実利主義的な学術的言説は、国や地域の文脈を無視する傾向があり、「遺産化」や「組織化」に伴う対立も生じている。本講演では、30年以上にわたって実践的、理論的、そして学術的な見解に基づいて遺産学という学問分野を進展させてきたLeo Schmidt教授、Alexandra Skedzuhn-Safir教授(いずれもドイツBTU)、Jens Casper教授ら(エアフルト応用科学大学)の協力を得て、オンライン上でさらに学術的な議論を展開する。JASSO応募に際しての必須科目に設定。	英語運用能力が求められる。(日本語話者向け)参考) IELTS総合スコアが6.5程度。 英語で授業。 対面 オンライン(同時双方向型) 2025年度は対面講義(教室で国内外の大学とオンラインで接続する可能性はある)を予定する。
OATV207	International Conventions for Heritage Conservation (国際条約論)	1	1.0	1・2	春BC	集中	飯田 義彦, 堀江 正彦, 池田 真利子, 肥後 時尚	生物多様性保全や気候変動問題などの地球環境の保全や遺産の保護と開発に関する国際条約、ならびに世界中の様々な国々の事例研究を通じて、急速に変化する社会状況に応じて、遺産と共存しながらどのように環境を保全し、持続可能な社会を実現するかを学ぶ。	非常勤講師：堀江正彦, 外部講師：鈴木渉 英語で授業。 対面
OATV406	インタープリテーション概論	1	1.0	1・2	秋AB	集中	三ツ井 聡美	自然遺産や文化遺産の価値を伝えるインタープリテーションの学術的背景や概念について学ぶ。また、筑波大学内を事例地にしてインタープリテーションのスキルの向上をはかる。	

実習

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OA0A102	陸域フィールド実習1	3	1.0	1 - 5	春C夏季休業中	集中	上條 隆志, 飯島 大智	自然保護、特に陸域の生物多様性保全・希少野生生物の保全について学ぶ。実習地はハケ岳周辺とする。	ハケ岳実習(3泊4日を予定)は夏季集中として実施する。また、事前学習と事後学習を行う。日程の詳細については、自然保護寄付講座のウェブサイトと掲示により行う。宿泊、移動の関係から人数制限を行う場合がある。英語でも対応する。定員15名程度(応相談)

OA0A104	保護地域管理実習	2	1.0	1 - 5	夏季休業中	集中	三ツ井 聡美	世界文化遺産である富士山を訪れ、地域の価値や抱える課題を学ぶ。訪問する地域は山梨県の富士北麓（富士吉田市周辺）である。富士山の自然や文化の保全と継承、国内外から訪れる観光客への啓蒙などについて、地元のスチークホルダーとの意見交換を行うことで保護地域の管理のあり方について理解を深める。	
OA0A105	野生生物管理実習	2	2.0	1 - 5	夏季休業中	集中	澤田 聖人	佐渡島を実習地として、島嶼生態系の成り立ちやその独自性について学ぶほか、絶滅危惧種（トキ）の保護管理方法について学ぶ。具体的には、新潟大学佐渡演習林や佐渡トキ保護センター、世界農業遺産に登録されている現地の里地里山に訪問する。また、世界文化遺産である「佐渡島の金山」にも訪問する。本実習は新潟大学佐渡自然共生科学センター演習林を拠点に行い、新潟大学の教職員がご協力のもと実施する。	自然保護寄附講座履修生のみ受講可能。佐渡島での実習（4泊5日）とは別に事前学習を2日分、事後学習を1日分実施する。
OA0A106	自然保護学特別実習	3	1.0	1 - 5	秋C春季休業中	集中	上條 隆志、飯島大智	自然保護学の実践の場において、その自然環境、自然保護の取り組み、問題点について実習形式で学ぶ。具体的には、伊豆大島を対象として、火山地質、植生、希少野生生物、外来種問題、植物の盗掘問題などの現状を実際のフィールドを歩くとともに現地の自然保護活動家との議論から学ぶ。国立公園、ジオパーク、自然愛好会などの活動をしている人との議論を通じて、自然保護の課題と今後の在り方について理解を深める。	集中形式で実施する。大島現地実習（2泊3日を予定）、事前学習、事後学習を行う。日程の詳細については、自然保護寄附講座のウェブサイトと掲示により行う。宿泊、移動の関係から人数制限を行う場合がある。英語でも対応する。定員10名程度（応相談）
OA0A107	自然保護特別実習1	3	2.0	1 - 5	夏季休業中	集中	川田 清和、上條隆志	自然の保護と持続的な利用について学ぶことを目的とする。モンゴルでの現地実習を予定している。モンゴルの野生動植物の観察、モンゴルの自然保護と持続的な資源利用に関するグループ学習などを通じ、人と自然とのあり方などについて議論する。	自然保護寄附講座サーティフィケートプログラムを受講している大学院生のみ履修可能。当プログラムについては、4月に開催される学生向け説明会に参加して情報を得ること。実習期間は7日間を予定。これとは別に事前学習と事後学習を行う。日程の詳細については、自然保護寄附講座のウェブサイトと掲示により行う。対面
OA0A108	自然保護公開フィールド実習	3	1.0	1 - 5	春C夏季休業中 秋ABC	随時	飯田 義彦	全国の大学で提供される公開実習の中から自然保護に関連するプログラムを選択し、自然保護学を構成する保全生態学、生物多様性、野生生物管理、自然遺産学、自然保護制度、陸域・海域保全などを実践的に修得し、自然保護について理解を深める。	他大学での実施
OA0A201	短期インターンシップ	3	1.0	1 - 5	通年	随時	三ツ井 聡美、澤田聖人	国、地方自治体、民間企業、自然保護団体等における短期間（のべ10日以上20日未満）のインターンシップ。勤務内容は自然保護に関係するものとする。	自然保護寄附講座サーティフィケートプログラムを受講している大学院生のみ履修可能。学生向け説明会に参加して情報を得ること。対面
OA0A202	中期インターンシップ	3	2.0	1 - 5	通年	随時	三ツ井 聡美、澤田聖人	国、地方自治体、民間企業、自然保護団体等における、のべ20日以上40日未満のインターンシップ。勤務内容は自然保護に関係するものとする。	自然保護寄附講座サーティフィケートプログラムを受講している大学院生のみ履修可能。学生向け説明会に参加して情報を得ること。対面
OA0A203	長期インターンシップ	3	3.0	1 - 5	通年	随時	飯田 義彦、三ツ井聡美、澤田 聖人	国、地方自治体、民間企業、自然保護団体、国際機関等における長期間（のべ40日以上）のインターンシップ。勤務内容は自然保護に関係するものとする。	自然保護寄附講座サーティフィケートプログラムを受講している大学院生のみ履修可能。学生向け説明会に参加して情報を得ること。対面
OA0A206	短期インターンシップ2	3	1.0	1 - 5	通年	随時	三ツ井 聡美、澤田聖人	国、地方自治体、民間企業、自然保護団体等における短期間（のべ10日以上20日未満）のインターンシップ。勤務内容は自然保護に関係するものとする。	自然保護寄附講座サーティフィケートプログラムを受講している大学院生のみ履修可能。学生向け説明会に参加して情報を得ること。0A0A201を履修したものに限る。対面

OATV104	自然遺産演習	2	2.0	1・2	夏季休業中	集中	三ツ井 聡美, 吉田 正人, 飯田 義彦	自然遺産地域における現地調査を通じて、自然遺産地域の保全と管理、およびそれに対する地域住民や専門家の参加について学ぶ。自然遺産地域の管理計画、科学委員会・地域連絡会議を通じた専門家、地方自治体、地域住民、NPOなどの役割分担と協働、外来種対策やエコツーリズムなどの事例を現地調査から学ぶ。	非常勤講師：吉田正人
OATV208	Project Practice in UNESCO-designated Area (ユネスコ地域演習)	2	2.0	1・2	春C夏季休業中	集中	飯田 義彦	ユネスコエコパークやユネスコ世界ジオパークに登録された地域を訪問し、自然や文化の遺産保全と持続可能な地域づくりとのバランスを取るための実践的な方策について、現地の関係者の取組や国際的な取組の双方から学ぶ。	現地実習（石川県白山市） 英語で授業。